

令和 8 年度

運営に関する計画

大阪市立淀中学校

令和8年 4 月

1 学校運営の中期目標(令和8年度から令和11年度)

現状と課題

- 「友愛・希望・奉仕」を校訓として掲げ、そのような心をもった子どもたちを育てることを不変の目標としている。
 - 令和8年度はじめに、学校運営の上位目標を「学びの充実 子どもたちの健やかな成長」とあらためて設定をした。日々の教育活動が充実し、その成果として、子どもたちが成長を遂げる。つまり、できなかったことができるようになり、気づかなかったことに気づけるようになり、考えられなかったことを考えられるようになる。それが学校教育の目指すべき本質的な目標であると考えからである。
 - そして、そのことにつながるより具体的な学校組織目標として次の4つを設定した。
 - ・すべての生徒が落ち着いて授業およびさまざまな教育活動に取り組むことができる学校状況の実現と維持。
 - ・確実に基礎学力を向上させる授業およびさまざまな教育活動の実現。
 - ・ICTをあたりまえの道具として活用した主体的対話的で深い学びの実現。
 - ・教職員が良好に協働できる組織の実現と維持。結果として持続可能でワークライフバランスのとれた働き方の実現。
- これらをより具体的な学校組織目標として設定したことの背景には、さまざまな面での改善や立て直しの手応えを感じている中ではあるが、令和8年度はじめの時点での、未だにきびしい学校状況の現実がある。特に課題として認識しているのは---
- 1 落ち着いた教育活動に不可欠である規律の確立と維持に、継続して注力しなければならない生徒状況。
 - 2 そのような生徒状況を生じさせる要因の1つとなっている低い学力実態。例えば、全国学力学習状況調査では「学力に課題のある生徒」の割合が国数ともに4割以上となっていること。
 - 3 生活指導対応と低い学力実態への対応に追われ、求められる授業スタイルの変革が十分に進んでいないこと。
 - 4 働き方改革はある程度進んでいるものの、学びの充実との両立が難しく、これ以上進めることには、工夫では限界があり、教育活動の縮小を図る必要があると感じていること。それでは意味がないと悩みもすること。

このような現状と課題認識をふまえ、運営に関する計画を策定した。

中期目標 すべて全市共通目標より選択**【安全・安心な教育の推進】**

- 生徒アンケート「学校生活は楽しい」について肯定的な回答を 90%以上で維持する。
- 生徒アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」について肯定的な回答を 80%以上で維持する。
- いじめ対応に係る本市調査「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 100%で維持する。
- 年度末の校内調査において前年度不登校生徒の改善の割合を増加させ続ける。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 生徒アンケート「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、肯定的な回答を 80%以上で維持する。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の学力に課題のみられる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.2 ポイント以上減少させ続ける。

【学びを支える教育環境の充実】

- 生徒アンケート「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」について、肯定的な回答を 50%以上で維持する。
- 生徒アンケート「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」について、肯定的な回答を年度ごとに増加させ、令和 11 年度に 50%以上にする。
- 教員の時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにし、かつ年 720 時間を超えて実施する教員もゼロにする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標のうち中期目標にも設定したもの

- 生徒アンケート「学校生活は楽しい」について肯定的な回答を 90%以上で維持する。
(R7:92%)
- 生徒アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」について肯定的な回答を 80%以上で維持する。(R7:80%)
- いじめ対応に係る本市調査「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 100%にする。
(新設定)
- 年度末の校内調査において前年度不登校生徒の改善の割合を 増加させる。

全市共通目標のうち年度目標として追加したもの、および学校独自の年度目標

- 生徒アンケート「社会のルールや学校のきまりを守っていますか」について、肯定的な回答を 95%以上で維持する。(R7:96%)
- 生徒アンケート「火災や地震、津波が起こったら、どう避難したらいいか理解していますか」について、肯定的な回答を 95%以上で維持する。(R7:98%)
- 生徒アンケート「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について、肯定的な回答を 95%以上で維持する。(R7:98%)
- 生徒アンケート「自分のよいところを伸ばし人の役に立つ人間になることにつながる自分自身の進路について、考える機会がありましたか」について、肯定的な回答を 90%以上で維持する。(R7:90%)
- 生徒アンケート「道徳の学習では、自分を振り返り、自分のこととして考えることができた」について、肯定的回答率を 90%以上で維持する。(R7:93%)
- 生徒アンケート「学校では、教科の授業の中で、あるいは芸術鑑賞など教科の授業以外にもさまざまな体験で学ぶ機会があり、考えが深まった」について、肯定的な回答を 90%以上で維持する。(R7:93%)
- 生徒アンケート「個性や文化などのさまざまな違いを理解して認め、共に大切にすることは大事だと思う」について、肯定的な回答を 95%以上で維持する。(R7:98%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標のうち中期目標にも設定したもの

- 生徒アンケート「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、肯定的な回答を 80%以上にする。
(もっとも肯定的な回答→肯定的な回答と変更して新設定)
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の学力に課題のみられる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.2ポイント以上減少させ続ける。(新設定)

全市共通目標のうち年度目標として追加したもの、および学校独自の年度目標

- 生徒アンケート「運動やスポーツをすることは、頑張りがいがあると感じる」について、肯定的な回答を 80%以上にする。(好き→頑張りがいがあると文言変更して新設定)
- 生徒アンケート「学校では健康について学ぶ機会があり、知識や考えが深まった」について、肯定的な回答を 80%以上にする。(新設定)

- 生徒アンケート「授業はよくわかる」の肯定的回答率をすべての教科において 80%以上で維持する。(R7 : 86%)
- 生徒アンケート「学校図書館は落ち着いて読書ができる魅力的な場所で、本を読んでもみようという気持ちが増した」について、肯定的な回答を 前年度より向上させる。(R7 : 63%)

【学びを支える教育環境の充実】**全市共通目標のうち中期目標にも設定したもの**

- 年度目標アンケート「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」について、肯定的な回答を 50%以上にする。(新設定)
- 年度目標アンケート「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」について、肯定的な回答を 30%以上にする。(新設定)
- 教員の時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにし、かつ年 720 時間を超えて実施する教員もゼロにする。

全市共通目標のうち年度目標として追加したもの、および学校独自の年度目標

- 生徒アンケートで「ICT 機器を効果的に活用し、教え方を工夫してくれていますか」について、肯定的な回答を 90%以上にする。(文言を変更して新設定)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立淀中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標のうち中期目標にも設定したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒アンケート「学校生活は楽しい」について肯定的な回答を <u>90%以上で維持</u>する。(R7:92%) ○生徒アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」について肯定的な回答を <u>80%以上で維持</u>する。(R7:80%) ○いじめ対応に係る本市調査「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を <u>100%</u>にする。(新設定) ○年度末の校内調査において前年度不登校生徒の改善の割合を <u>増加</u>させる。 <p>全市共通目標のうち年度目標として追加したもの、および学校独自の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒アンケート「社会のルールや学校のきまりを守っていますか」について、肯定的な回答を <u>95%以上で維持</u>する。(R7:96%) ○生徒アンケート「火災や地震、津波が起こったら、どう避難したらいいか理解していますか」について、肯定的な回答を <u>95%以上で維持</u>する。(R7:98%) ○生徒アンケート「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について、肯定的な回答を <u>95%以上で維持</u>する。(R7:98%) ○生徒アンケート「自分のよいところを伸ばし人の役に立つ人間になることにつながる自分自身の進路について、考える機会がありましたか」について、肯定的な回答を <u>90%以上で維持</u>する。(R7:90%) ○生徒アンケート「道徳の学習では、自分を振り返り、自分のこととして考えることができた」について、肯定的回答率を <u>90%以上で維持</u>する。(R7:93%) ○生徒アンケート「学校では、教科の授業の中で、あるいは芸術鑑賞など教科の授業以外にもさまざまな体験で学ぶ機会があり、考えが深まった」について、肯定的な回答を <u>90%以上で維持</u>する。(R7:93%) ○生徒アンケート「個性や文化などのさまざまな違いを理解して認め、共に大切にすることは大切だと思う」について、肯定的な回答を <u>95%以上で維持</u>する。(R7:98%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容・指標【安全・安心な教育の推進】	達成 状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめのない学校づくり（生活指導部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「いじめについて考える日」及び「いのちについて考える日」を設定し、「いじめを許さない学級・学校づくり」について子どもたちがお互いによく理解し考える機会を設ける。 ● いじめのアンケートを実施、認知したいじめについては、チームとしてその対応にあたる。 <hr/> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 毎月、「いじめアンケート」を実施し、認知したいじめについて対応した割合を100%できるようにする。 <p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けた改善点等】</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>規律ある学校・暴力行為のない学校づくり（生活指導部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 警察、子供相談センター、SSW やSCや関係諸機関と連携し、生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる仕組みづくりをする。 ● ケース会議等、組織的対応が100%できるようにする。 ● 学期に一度程度、生活指導に関する講話(SNS 非行防止など)を行う。 <hr/> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 校内における生徒アンケート「社会のルールや学校のきまりをまもっていますか」の項目について肯定的回答の割合を95%以上で維持する。 <p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けた改善点等】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校生徒への支援体制（生活指導部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SSWやSCや関係諸機関等と連携して、不登校生徒の対応を行う。 ● 不登校生徒の状況を鑑み落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整備する。 <hr/> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 年度末の校内調査において、不登校生の在籍比率を前年度より減少させることを目標にするとともに一人一人に着目し、不登校生徒全員が自立に向けそれぞれ方向性をもって生活できるよう組織的に支援できるようにする。 <p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けた改善点等】</p>	

<p>取り組み内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>防災教育（健康教育部（防災担当））</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緊急時に適切な判断ができる生徒を育成するため、「防災計画」を作成する。 ●災害等に備え、避難訓練・集団下校訓練を実施する。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒アンケートの「火災や地震、津波が起こったら、どう避難したらよいか理解していますか」の項目で、肯定的な回答の割合を95%以上にする。 ◆ 避難訓練後の生徒アンケートで、「校内災害発生時の避難の方法がわかった」の回答の割合を90%以上にする。 <p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	
<p>取り組み内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳心の育成（教務部（道徳教育推進担当））</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「特別の教科 道徳」を推進するための研究（授業法・評価法）を進める。 ●道徳教育の取り組みについて道徳便りで情報発信する。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒アンケート「道徳の学習では、自分を振り返り、自分のこととして考えることができた」「友達の意見を受け入れることができましたか」について、肯定的回答率を90%以上で維持する。（R7：92.8%、95.8%） ◆ 生徒アンケートの「積極的に参加し、考えることができましたか」について、肯定的回答率を80%以上で維持する。（R7：88.0%） ◆ 道徳だよりを学期に1回（年間3回）発行し、情報発信する。 <p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	
<p>取り組み内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>多様な体験活動の推進（教務部（学校行事担当）・音楽科・管理職）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な芸術に触れ合わせる鑑賞機会を設定し、豊かな心を育む。 ● 全校生徒対象の琴の演奏体験学習を実施し日本の伝統文化について知り考える機会をつくる。 <p>注：昨年度までここに立案していた西淀川区4中と区役所・PTA協議会が連携して実施していた「に一よん模試」については、令和7年度で一区切りとし、令和9年度1学期に西淀川区4中合同の業者テストとして3年生を対象に各校会場で実施。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒アンケート「学校では、教科の授業の中で、あるいは芸術鑑賞など教科の授業以外にもさまざまな体験で学ぶ機会があり、考えが深まった」の項目の肯定的回答の割合を90%以上で維持する。 <p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	

取り組み内容⑦【基本的な方向2 豊かな心の育成】

外国にルーツのある子どもの支援・多文化理解（教務部（人権・外国人教育担当））

- 抽出による個別の日本語指導で、生活言語の定着を図る。
- 日本語指導者やJSL指導者による教科指導、多文化共生支援担当学校司書・学びサポーターによるサポート、グローバル教室において、日本語での学習についていけるだけの学習言語の定着を図る。
- 国際クラブ（ペルー教室・フィリピン教室・ネパール教室・中国教室）において、母国についての知識を深め、母語の習得とアイデンティティーの確立を図る。
- 第1共生支援拠点「らんまん」と連携して講師を招聘し、「国際理解・多文化共生」学習の機会を設ける。

【指標】

- ◆日本語教室に在籍する生徒に対して、年2回JLPTを行い（N5～N3）、個人の結果の平均を初回より平均5%上回るようにする。日本語教室に在籍する生徒へのアンケートの「日本語の学習は楽しいですか？」の項目で、肯定的な回答の割合を85%以上にする。
- ◆日本語指導者やJSL指導者による教科指導を受けている生徒、グローバル教室に参加している生徒にアンケートを行い、それぞれの満足度を70%以上にする。
- ◆学期に1回、年3回国際クラブの活動を行い、参加生徒へのアンケートの「母国についての知識を高めることができましたか」の項目で、肯定的な回答の割合を80%以上にする。
- ◆生徒アンケート「個性や文化などのさまざまな違いを理解して認め、共に大切にすることは大切だと思う」について、肯定的な回答の割合を95%以上で維持をする。

【中間時点での進捗状況】

【後半に向けての改善点等】

大阪市立淀中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標のうち中期目標にも設定したもの</p> <p>○生徒アンケート「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、肯定的な回答を <u>80%以上</u> にする。 （もっとも肯定的な回答→肯定的な回答と変更して新設定）</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の学力に課題のみられる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.2ポイント以上減少</u>させ続ける。（新設定）</p> <p>全市共通目標のうち年度目標として追加したもの、および学校独自の年度目標</p> <p>○生徒アンケート「運動やスポーツをすることは、頑張りがいがあると感じる」について、肯定的な回答を <u>80%以上</u> にする。（好き→頑張りがいがあると文言変更して新設定）</p> <p>○生徒アンケート「学校では健康について学ぶ機会があり、知識や考えが深まった」について、肯定的な回答を <u>80%以上</u> にする。（新設定）</p> <p>○生徒アンケート「授業はよくわかる」の肯定的回答率をすべての教科において <u>80%以上</u> で維持する。（R7：86%）</p> <p>○生徒アンケート「学校図書館は落ち着いて読書ができる魅力的な場所で、本を読んでもみようという気持ちが増した」について、肯定的な回答を <u>前年度より向上</u> させる。（R7：63%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容・指標 【未来を切り拓く学力・体力の向上】	達成状況
<p>取り組み内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>指導力向上/研究授業（教務部（学力向上担当））</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学習のテーマを決めた研究授業、研究協議や、校内研修を実施し、授業の充実、新たな授業づくりにつなげる。 ● すべての授業者が、一人ひとりの子ども観、学級観、単元や授業のねらいを明確にし、主体的・対話的で深い学びの授業の創造に努める。 ● 学力向上について基本的な授業の改善（ねらい、めあてを示す、一方的に話さない、板書計画を立てる等）を確実に行う。 ● 国数学びサポーターと連携し、学力に課題のある生徒の学習の支援を行う。 ● 朝学習でタブレット端末を使用し、基礎的な学力の習得をさせる。 	

<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒アンケート「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、肯定的な回答を<u>80%以上</u>にする。 ◆ 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の学力に課題のみられる生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より<u>0.2ポイント以上減少</u>させ続ける。 ◆ 生徒アンケート「授業はよくわかる」の肯定的回答率をすべての教科において<u>80%以上</u>で維持する。(R7：86%) 	
<p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	

<p>取り組み内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p>	
<p>読書活動の推進（各学年・読書担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共図書館による学校支援サービスを利用する。 ● 各クラスに学級文庫を設置し、読書の機会を確保する。 ● 生徒委員会を中心に読書推進のための活動を計画し、実施する。 ● 蔵書の充実等、継続して学校図書館の魅力向上に努める。 	
<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 年間1回以上、公共図書館の「団体貸し出し」や「読み聞かせ」を活用する取り組みを行う。 ◆ 図書館補助員と連携し、学級文庫の図書の入替えを年間2回以上実施する。 ◆ 生徒アンケートにおける「読書の時間は集中して本を読んでいますか」（前年63.9%）「学校図書館は落ち着いて読書ができる魅力的な場所で、本を読んでもよいという気持ちが増した」（前年63.3%）の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より向上させる。 ◆ 生徒一人当たりの年間貸し出し冊数を2冊以上にする（前年度1.1冊）。 	
<p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	
<p>取り組み内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体力・運動能力の向上（マラソン委員会 委員長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 体育科授業、体育的行事、部活動（運動部）などの学習や活動を通して、子どもの体力・運動能力向上のための取組を充実させる。 ● 体育の授業、体育的行事、部活動（運動部）のほかに、昼休みなどで、日々、体を動かすことができる環境を整える。 	

<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 運動部所属生徒へのアンケートで「充実している」と肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 ◆ 体育大会・マラソン大会における生徒アンケートで肯定的に回答する生徒の割合を80%以上に維持する。 	
<p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	
<p>取り組み内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 食育指導（健康教育部（給食・食育担当））</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 給食指導や家庭科授業など様々な機会をとらえて、食育を推進する。 	
<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒に給食アンケートを実施し、「全部食べた」や「ほとんど食べた」という肯定的な回答割合を80%以上にする。 ◆ 生徒アンケートにおいて「毎日朝食を食べた」や「ほとんど毎日朝食を食べた」の肯定的内容の回答割合を85%以上にする。 ◆ 食への興味関心を持たせるため、保健委員を活用して給食カレンダー・食育通信を掲示し、クラスへの啓蒙を行う。また、家庭科の授業や給食の時間を有効活用する。 	
<p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	
<p>取り組み内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】 保健指導（健康教育部（学校保健担当））</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本校の健康課題の改善に向け、保健だより等で情報発信を行い、保健員会などを活用し、啓発活動を進めていく。 ● 保健指導を活用し、より健康への意識を高める。 学校保健委員会を開催し、保健委員会の取り組みや健康課題について、校医・保護者と連携しながら、課題解決について話し合う。 ● 保健室来室生徒対応等を丁寧に行い、さらに、教職員との連携をしながら生徒が安心して利用できるように保健室運営を進めていく。 	
<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 教職員研修を年1回以上、保健指導を年2回以上行う。 	
<p>【中間時点での進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	

大阪市立淀中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標のうち中期目標にも設定したもの</p> <p>○年度目標アンケート「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」について、肯定的な回答を <u>50%以上</u>にする。（新設定）</p> <p>○年度目標アンケート「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」について、肯定的な回答を <u>30%以上</u>にする。（新設定）</p> <p>○教員の時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにし、かつ年 720 時間を超えて実施する教員もゼロにする。</p> <p>全市共通目標のうち年度目標として追加したもの、および学校独自の年度目標</p> <p>○生徒アンケートで「ICT 機器を効果的に活用し、教え方を工夫してくれていますか」について、肯定的な回答を <u>90%以上</u>にする。（文言を変更して新設定）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容・指標 【学びを支える教育環境の充実】	達成状況
<p>取り組み内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルフォーメーション）の推進】</p> <p>ICT教育の推進（教務部（ICT担当・CIO））</p> <ul style="list-style-type: none"> ● わかりやすい授業を推進するために、一人一台のクロームブックなどのICTを用いた視聴覚教材の使用を進める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒アンケートで「先生はICT機器や資料などを示し、教え方を工夫してくれている」の項目において肯定的な意見を90%以上にする。 ◆ 年1回オンラインで学習する取り組みを行う。 	
<p>【進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	

<p>取り組み内容②【基本的な方向9 家庭・地域等との連携協働した教育の推進】</p> <p>地域・家庭と連携協働した開かれた学校づくり（管理職）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校元気アップ支援事業による「土曜学習会」を継続して実施し、自主学習習慣の改善につなげる。また、地域ボランティアとの交流を通じて学習意欲向上につなげる。 ● 学校元気アップ支援事業による「英検」「漢検」の取組を校区小学校と連携して継続し、学習意欲向上につながる機会を提供する。 ● 学校元気アップ支援事業による「放課後図書館開放」「小中図書交流」を継続し、読書活動の推進と小中連携につなげる。 ● 学校元気アップ支援事業による「校内緑化の改善」を進める。 ● たぶんか進路説明会の運営委員会の一員として、地域 NPO・区役所・共生支援拠点との連携により、多文化共生教育の推進につなげる。 <p>⇒それぞれの取組において、これまで受け継がれてきた取組への尊重をベースにしながらも、より実態とニーズに応じたかたちを模索していく。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「土曜学習会」「英検」「漢検」「放課後図書館開放」「小中図書交流」「たぶんか進路説明会」への参加生徒の人数を昨年度より増加させる。 	
<p>【進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	
<p>取り組み内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革（管理職）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 円滑で効率的な情報共有・教員間連携・校務推進につながる具体的な方策として、ICT のより有効な活用方法を継続して模索する。 ● 地域人材や部活動指導員の活用を継続して推進し、教員の業務負担の軽減につなげる。 ● 校内の若手育成研修を充実させ、若手教員の不安感を軽減する。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ICT のより有効な活用方法の1つとして、効果検証のためのアンケート類は、集計の手間を無くすため、引き続き Forms 等を活用する。 ◆ 部活動指導員や各種サポーターの配置を少なくとも昨年度（17名）なみに確保する。 ◆ 校内の若手育成研修を学期に1回以上実施する。 ◆ 毎月の時間外勤務が60時間（目標値の年間720時間÷12カ月＝60時間）を超える教職員の状況を月末につかみ、状況を把握して、翌月の改善につなげる。 	
<p>【進捗状況】</p> <p>【後半に向けての改善点等】</p>	